

天溪 2016 年「エベレスト街道 ゴーキョピーク 16 日間」

第 2 部

ゴーキョピークの後方に位置するレンジョ・パス(5417m)はコンマラ・パス、チョラ・パスと並びエベレスト街道トレッキングの 3 大パスの一つで、他のパスとの違いはエベレストが正面に迫ります。このパスを越えると古くからチベット、ネパール間の交易ルートが通るターメの谷に入り、ナムチェへは途中 1 泊で向かう事が可能になります。今回は総勢 21 名全員 1 人の落後者も出ずにこの峠を越えてターメの谷へ下りました。自慢では有りませんが 21 名がこの峠を越えるなど昨今あまり無いと思います。



レンジョ・パスから見たエベレスト、
ローツェ、マカルーの 8000m 峰



(レンジョパス 4360m 11/18 日)

○ゴーキョ第 4 レイクへ

昨夜はゴーキョ・ピークへ登り夕焼けのエベレストを楽しんだので、今日はその疲労回復と明日のレンジョ・パス越えに向け休養日、と言っても標高 4800m では中々心から休むことなど出来ません。それでも午前中、体慣らしにゴーキョ第 4 レイクまで散策に出かけました。レイクの脇は広々とし、広大なゴズンバ氷河越しにチョ・オユー、そして 1965 年に長野県山岳連盟により初登頂されたギャチュンカン(7952m)の峰々が白く連り、ヒマラヤンブルーの空に映えていました。



(左チョ・オユー、右ギャチュンカン 11/17 日)



○レンジョ・パスへ

午前 6:30 次の目標レンジョ・パスへ向けいよいよ出発。ゴークョピークの裾を湖に沿って進み、湖端から急坂をジグザグに登る事約 4 時間、氷河に削られた広いテラスに到着。何度登っても 5000m 辺りは体調の節目なのか息苦しさを感ぜず。更に登る事 2 時間の午後 1 時 15 分、漸くレンジョ・パスのいただきに到達。この地はゴークョピークと殆ど標高が変わりませんがエベレストの姿見はやや上で、エベレストが大地に鎮座するかのように凛々しく見えました。(筆者の感想)



(レンジョパスしたのテラス 11/18 日)



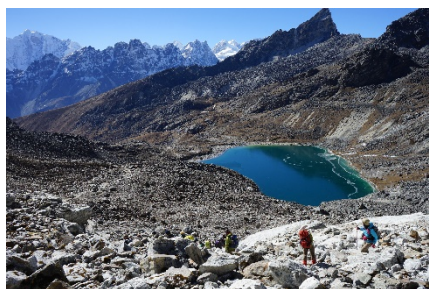
○ターメそしてナムチェ

レンジョ・パスを越えるとターメ方面は午後の日が燦々と射していて暖かいものの、急なガラ場の下りが続きます。ここを貫け小さな湖の畔に達すると標高は 5000mを切り、今迄の緊張が解けたのか急に虚脱感が出てきました。そんな中、正面にテェンギランギタウ(6943m)が逆光を浴びて美しいシルエットを作り、今日の宿泊地ルムデ(4380m)まで迎え入れるかのようでした。

翌日はターメ宿泊の予定でしたが計画を変更し一気にルムデからナムチェまで長距離移動、ナムチェ手前で見た夕焼けのタムセルク(6623m)がやけに綺麗で、過酷だったトレッキングの終わりを告げるかの様でした。



(ターメ側からレンジョパスを望む 11/18日)



今年の天溪ツアーはこれを持ちまして全て無事に終了することが出来ました。皆様のご愛顧を心より感謝申し上げます。2017年の天溪ツアーは、所を南半球に移し2月6日発の「ミルフォードトラックとマウントクック11日間」で始まります。

来る年も、何卒、宜しくお願い申し上げます。